

アズキノメイガ(Adzuki bean borer)

Ostrinia scapulalis



写真1 アズキノメイガの成虫(左上)と幼虫



写真2 アズキノメイガの幼虫と被害

発生生態

ガの仲間で、成虫(写真1左上)は年3回発生し、幼虫態で越冬します。府内では、ダイズやアズキで被害が見られます。幼虫(写真1)が茎内や葉柄内に食入(写真2)して内部を食害し、茎葉の折損や萎凋枯死を引き起こします。食入口には木くず様の虫糞が見られます。また、莢内の子実が食害されることもあります。

防除対策

開花始めから10日間隔で2~3回、アズキノメイガに登録のある殺虫剤を散布します。また、本種は広食性でほ場周辺の雑草地が発生源となることもありますので、定期的に除草して下さい。